◆総会で議決された議案の内容◆

一、令和五年度事業報告及び決算報告

令和五年度事業報告では、令和五年度事業計画に盛られた春秋の善行表彰を初めとする各事業が着実に実施された。

また、決算報告においては、収入面では、当初の予算額に対し、厳しいものとなった。支出の部では、予算内で各事業が円滑に執行された旨の報告となっている。

また、報告事項として、令和六年度事業計画及び収支予算について、財政検討委員会について、新たに一支部設立などそれぞれ報告があった。

二、「理事及び監事の選任について」

左記掲載の新役員名簿のとおりである。

祝電を寄せられた方々（順不同敬称略）

財務大臣政務官・衆議院議員　瀬戸　隆一
衆議院議員　船田　元
衆議院議員　逢沢　一郎
名古屋市市議会議員　中里　高之

一般社団法人 日本善行会 役員名簿（五十音順）

＜理事＞二十八名

相澤克也
石毛利雄
太田征二
勝野堅介
栗原　忍
黒崎一嘉
黒澤　猛
黒瀧信行
小島　力
島村弘子
高田　修
髙橋睦夫
千葉　修
鳥巣正行
中嶋光子
永津勝彦
西村　弘
濱武　隆
飯田勝男
平井憲太郎
平岩宏子
松井　猛
松本カネ子
宮村文隆
安田権寧
山崎久夫
山下純雲子
やまだ加奈子

＜監事＞三名

浦野　秀樹
久保　猛
志村宗男

支部だより

愛媛県支部

支部長就任にあたって

愛媛県支部長　谷本　治

この度、武田支部長より愛媛県支部長を引き継ぐ事になりました谷本と言います。よろしくお願いします。今まで会の運営を妨げていた新型コロナも昨年度、感染療法の五類扱いとなり、日常生活が少しずつコロナ前に回復しています。会の活動も色々と規制を受け自縮せざるを得なくなる事が多くありましたが、今年より基本に立ち帰り、組織の再編成、会員の増員を図ります。愛媛は、東、中、南予と広い区域を持っており、また、当地域でも高齢化と農村部の過速化、ボランティアの後継者が不足という課題がありますが、原点に立ち帰り再度会員の募集を行い組織の若返りを図るとともに会員の増員を行い愛媛県内の埋もれた若者の掘出しを行って、県内ボランティアの活性化に努めたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

岩手県南支部

春季・特別善行表彰の市長報告

春季・特別善行表彰の金章を受賞した岩手県南支部長の髙橋睦夫氏と銀章を受賞した菊池幸子氏の二人が奥州市役所を訪れ、倉成淳市長に報告した。

市長から、「継続できることは素晴らしい。これからも粘り強く継続してほしい」と激励された。

大分県竹田支部

定期総会と中城支部長叙勲祝賀会

平成六年五月三十一日に竹田支部の定期総会を来賓に土居昌弘竹田市長を迎え行いました。

総会終了後、中城賢一支部長の旭日単光章叙勲祝賀会を行い、竹田支部の今後のますますの躍進を願い参加会員全員で盛り上がりました

日本善行会 新事務局長

野中　修

皆様、こんにちは。小島前事務局長の後任として、三月より日本善行会本部事務局で働くことになりました野中修と申します。

神奈川県川崎市で社会人生活をスタートしましたが、二〇〇一年、築地・八丁堀で勤務していた際、勤務していた会社が英国系の携帯電話会社に買収され、経営改革の波に直面しました。その後、二〇〇五年には沖縄科学技術大学院大学（OIST）の立ち上げに参加し、内閣府や沖縄県と連携して新しい制度や規程を造りました。

日本善行会の勝野会長とは、二〇〇七年に勝野さんがOISTに赴任されて以来の付き合いで、OISTでの業務が一段落した後、勝野さんから東京への復帰を勧められ、善行会に参加することになりました。奉仕活動の意義を深く理解し、社会全体での支援と推進が重要と考え、日本善行会の運営に尽力します。皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

群馬県北毛支部

第四回春の環境美化活動の実施について

令和三年以来、恒例となった「第四回春の環境美化活動」を四月二九日（月）渋川市の利根川河川敷公園と北橘総合グランド周辺において、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団と合同で行いました。この環境美化活動には、当支部長以下六四人の会員、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団十六人の総勢八十人が参加し、空き缶やペットボトルなどのごみ拾いを行いました。

青空と新緑のもと、利根川の清流を間近に見ながら実施したところ、空き缶、ペットボトルなどのごみのほか、壊れた掃除機も拾い集められ、その量は軽くトラック一台分と、思いも寄らない沢山のごみを拾い集めることができて、参加者全員が環境美化活動の充実感と意識高揚を図ることができました。

これらの状況が、地元紙「上毛新聞」に五月二一日掲載され、大いに善行精神をアピールすることが出来ました。

受賞者の喜びの声

●●●令和五年度 秋季表彰●●●

秋季善行表彰を受賞して

宮城県女川町　佐藤澄子

この度は、初めての事なので、何も分らず思いがけない事で「善行表彰」を受け賜り心より感謝申し上げます。

幼い頃に母を亡くしており人との縁を大事にして生きてきました。一人暮らしの話し相手や私のできる事で、少しでも元気や笑顔になってもらえたら、また手作りの物や、料理を作って話しの輪が広がっていくよう日々頑張っています。これからも一日一日を大切に皆様の御健康を心からお祈りしながら、元気に過していきたいと思っています。

ありがとうございました。

正味財産増減計算書

令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで　（単位：円）

勘定科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
Ⅰ．経常収益			
①受取会費	14,320,000	15,315,750	△ 995,750
普通会員会費収入	11,056,000	12,375,000	△ ,319,000
特別会員会費収入	3,010,000	2,690,000	320,000
賛助会員会費収入	254,000	250,750	3,250
②寄付金品等収入	791,000	496,000	295,000
③雑収入	112,342	125,940	△ 13,598
経常収益計	15,223,342	15,937,690	△ 714,348
Ⅱ．経常費用			
①事業費支出	17,167,513	18,918,170	△ 1,750,657
②管理費支出	6,448,581	5,587,695	860,886
経常費用計	23,616,094	24,505,865	△ 889,771
当期経常増減額	△ 8,392,752	△ 8,568,175	175,423
一般正味財産期首残高	127,168,946	135,737,121	△ 8,568,175
正味財産期末残高	118,776,194	127,168,946	△ 8,392,752